



オカメザサ [阿亀笹]

常緑 / 特殊樹 / 在来種



科名 イネ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い
草本扱い (保証の観点より)

明るい緑色の葉をつける小型のタケ。短い枝をよく分岐して葉を密生させるため、目的の高さに刈り込み、グラウンドカバーや生垣に利用される。名前は、酉（とり）の市でこのタケにおかめや小判を吊り下げたことに由来する。ササがつくが、タケの仲間。寒風と乾燥は苦手。



Memo

タケとササの違いは、竹の皮が早期に脱落するのがタケ、いつまでも脱落しないのがササになる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	🌸 花期	(開花は稀)											
	🍒 果実												
	🍁 紅葉												
	🌱 施肥	(不要)											
	✂️ 剪定				■							■	

好みの環境					
日当たり	陽	○	○	○	陰
土壌	乾		○	○	湿
寒さ	強		○		弱
暑さ	強	○			弱
潮風	強	○			弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○						

ポイント

タケやササの管理は灌水がポイント。剪定と水やりが行き届くと、美しい仕上がりになる。雑草が侵入できなくなる効果もある。高さ1.5mほどに伸びるので、剪定すると見映えよくまとまる。

剪定

タケ、ササは、地下茎を伸ばし増えるため、仕切りを設け生育範囲を決めるとよい。筍（たけのこ）が出たら、古いタケを切除して新旧交代する。剪定に耐えるので、希望の高さで頭を止めるとよい。

病虫害

風通しが悪いとカイガラムシやサビ病が発生することがある。